

あまでつすです

民族衣装赤いタータンのキルトを着て、バグパイプを奏で乍らステージに登場した、タレントでもある中部大学教授ジョン・ギャスライト氏の講演を聴いて来た。各務原国際協会二十五周年記念イベントとして開催され、テーマは「心に国境はない」。

カナダから二十五年前に愛知県内にホームステイとして来日。その家はおいしいとおばあさんの二人暮らし。その日から純和風の家のホーム

ステイが始ったのである。見るもの、訊くもの、凡てが未知の世界。まず最初に覚えた日本語は「どうもどうも」と言う言葉だった。この言葉は兎にも角にも便利な言葉で、どんな時にも対応が出来たと云う。

挨拶をする時に「どうもどうも」、お礼をする時に「どうもどうも」、別れる時に「どうもどうも」。こんな導入部から、数多くのエピソードが身振り手振り、日本語も流暢に話が始った。

逆方向で使っていた。何故解ったかと云うと、ある時、扉を開けられてしまい「ああ」と、お互いの目が合い「向きが逆だわ」と云われたからだ。

逆方向で使っていた。何故解ったかと云うと、ある時、扉を開けられてしまい「ああ」と、お互いの目が合い「向きが逆だわ」と云われたからだ。

お便りします

「店長、今回の号は、りおんには送らんといて！」と電話しそうになりました。きのうも、高山から帰る高速の鳥根辺りで、りおんから電話。車内では、りおんの父さんが、おばあちゃんに「りおんたい！いま、練習試合がおわって、寂しくなってきたたい。」と説明中。「俺たちは、朝出てきたけど、みんな、今日の試合まで見て、そのあと、自分の子どもと、飯喰いにいくどが！買いもんもして、りおんは一人たい！寮で自分だけ、おらないかん。寂しかった。だけでも、電話で寂しかったはもう、言わんごつなつたばつ

てん、やっぱ、寂しかったよ。」だから、1年後、自分には帰れん、どこかの寮生活が出来る職を探している最中だ。でも、立ち止まった。りおん、自分の足で立つてくれ。お金の苦労から、すべてを始めて人は自立する。お父さん、お母さんはおるけど、当てにはならんと、見切りをつけて本当の意味での一人立ちを、じつと願う。あたしも泣いとる。「りおんが泣く時は、いつもおまえもないとる。」とお父さんが言う。どこの親が我が子と、離れたと思うもんか。口に出せないつらさやよな。だけんたい、今に見とれ！、思つてよ。まだ、子どもだけん、どうしようもなかと

うして戻すのか訊いたところ、「それやー草ではになあ。苗だわ」と云われた。中でも一番怖かったのは仏壇。写真が笑つていない。お盆には死んだ人が戻つて来ると云われ、怖くてお盆は睡眠不足。町に出て食堂に入れば、割り箸は一本で使うものだと思つていたが、隣の人を見ると、割つて使うのを見て「何と力のある人なんだろう」と思った。かと思えば店内に、かば焼きと書いてあったのを見て、この店ではあんな大きなカバを

焼くのだと思ひ一度食べてみた。九八下さい！」と云つたら、皆に失笑された。そんな事を家に帰つておばあさんに話すと「たーあけ！！」と云われたが、怒られた事には間違いがないが、「たーあけ」の意味が解らない。後で尋くと「愚か者」と云う名古屋弁だと云う。数多くのエピソードは尽きないが、後半はスライドを見乍ら、ギャスライト氏が生まれ育つた州の話の色と訊いた裡のひとつ。小さい頃、よく海辺で遊んでいた。そこに

嬉しそうにあげる様子を見て、憎たらしかった！「ふん、アマちゃん！」って思つて生きてきた。世間を憎んで生きてきた。だから今でもひねくれとるやる。でも、りおんは我慢しきるな。たくさん人の手で、愛をいっぱいもらつて育つてきた。素直に育つた。いま、寂しくてもその上にちゃんと立てとるよな。ずつと生き方をふたりで一緒に学んできた、あたしがりおんにしてやれる親としての、最後の事が、ライオンのように可愛いわが子を崖から突き落とす事やと思つてます。やつてみせてくれ！若いときの苦労は、跳ね返せる！幸せを早くつかまえることができる！そう、信じてます。

風地蔵新聞

第101号 発行 編集 風地蔵 白石 美帆 〒503-0922 岐阜県大垣市馬場町85

ヤフーブログ 毎日更新中 炎の女みほ日記 http://blogs.yahoo.co.jp/rion5230

十年を振り返って

鎌澤 宣子

前回は、社長の人となりをお話ししました。

今回はリーちゃんのことを、少し話したいと思ひます。

以前にも書いたと思いますが、社長とリーちゃんは、本当に一卵性親子だと誰もが認める似た者同士です。

ものの考え方とらえ方が本当にそっくりで、喜ぶところ、すねるところが二人ともまったく一緒なのです。

好きになるとことんその人の事だけを

考えるとこもよく考えています。

違つたところをあげるとしたらどこだろ

う？と考へないと出てきません。

社長はまず感性でおかしいと思つと整理がつかなくても、言葉に出てきます。

「何かわからんけど、それはちがつやろう。こう思つてゐるんやろ！」また、疑問符がある、そこで立ち止まつてしまつて前に進めない。

解決できないと、他の事が考えられなくなつてしまつとこころがあります。

リーちゃんは周りの人達の事や、その時の状況を敏感に感じ取つ

て、その時に応じて行動することが出来る時もあります。

特に一番大事な時に、思いもよらない行動をとつてしまつ時があります。

気持ちに余裕がなく、押しつぶされそうになつた時、社長に「私を見てよ！他に目をそむけないでよ！」という時にどうして

いいかわからなくなつて、いつもだつたら絶対しないだらうという事をして、周りを驚かせます。

また、困つてゐる人がいると、さつと手を差し出します。かばつてくれます。とつても心の優しい

気遣いのできる人で

時々わがママを言う時がありますが、悪いことも良いこともひつくるめてリーちゃんであり、そん

なりリーちゃんが大好きです。

今、ひとり、高山の高校で剣道漬けの毎日を送つてゐるリーちゃん、1年以上会

えていませんが、頑張つてゐるのは伝わります。「がんばれ

がんばれ」と応援することしかできません。

一度リーちゃんと電話で話をした時の事を思い出します。剣道部の仲間との今の状況で悩んでるリーちゃんに、私は、

そんなこと言うの、リーちゃんだったらできるよ。」と、がんばれ、がんばれと

いうことしか言えず、リーちゃんを怒らせた事があつたよな。

でも、リーちゃんはあの時、ただ黙つて話を聞いてほしかつたんだよね。

それなのに私は、頑張つてゐるのに今はこれ以上無理と悲鳴をあげてるリーちゃんをよけいに傷つけてしまつたと悔みま

した。でもそのあとリーちゃんは「ありがと。」といつもと変わらない声で言つてくれた事、とてもうれしかった。

いつまでも今のままのリーちゃんをいてほしいと思ひます。社長はよく私とリーちゃん

落ち込み方とかそっくりと言ひます。私はリーちゃんと社長がともそっくりだと思つてゐますので、ということ、社長と私は似てゐるという事になりま

すが、私は似てゐないと思つのですが皆さんはどう思われま

すか？

次回はいよいよ、最近の事を書こうと思ひます。

お楽しみに！！

社員旅行二日目

原 由里子

2012年3月3日

「今日泊まるホテルの中に、映画館やショップが入っているから見てくるといいよ。」と言われている、見ようと思っただけで疲れてベッドに横になり、化粧をしたまま目覚めたのが朝4時頃だった。

部屋は、店長と同じ。

私はお風呂に時間がかかるので、4時ごろからゆつくり入って、朝6時頃近くまで長湯をさせて頂きました。まだ寝ているから大丈夫だと思つた店長は、朝5時頃には起きていたそうです。トイレとお風呂が一緒のユニットバスで、トイレに行きたくても、私がお風呂に入っていたから、ガマンしていたと後から言われました。

スイマセン・・・。

泊まったホテルには、モーニングがないところなので、身支度を整え、チェックアウトを済ませ、荷物はホテルに預け、ホテルの近くのコンビニで朝食を買いました。

コンビニで買った朝食をどこで食べようか場所を探し、泊まったホテルに繋がっているいろんなお店が入っている所にイスがあり、まだ朝7時というのもあり、閉まったお店を見ながら朝食を済ませました。食べ終わって、荷物を取りに行こうとしたところ社長から店長の携帯に連絡が入り、「今から迎えに行く」と泊まったキャナルのワシントンホテルの前で待ち

2012年3月3日

新聞 蔵地風

社長の車が到着して、荷物を車の中に入れ、車に乗り込み、最初の目的地温泉に向かいました。本当は、熊本にある黒川温泉に行こうと思っていたそうなんです。

実はこの日、かなりのハードスケジュールが待ち構えていました。社員旅行2日目は、旅行だけではなくエステの研修が控えていたので

第101号

社長が結婚式の1カ月前から、通っていたエステがあり、いつも施術してくれる方が、技術もいいし、感じもいい。素直で、いろんな話をしてくれるけど、肝心の施術をした部分の変化を言っ

てくれないので、そこがもつたないと思つたそうです。そこで、他店との交流はめつたに出来ないチャンスでもあり、店長と私が普段、どのように施術をして、変化を伝えていくかを見せながら、その方に教えたいのと、私達もその方や、お店から盗めるものはないかということ、お客様が予約が入っていない、17時ならと、社長が、オーナーにお願いし、研修という形になりました。なので、黒川温泉は熊

「いつもお世話になってます。」と、社長はお店の従業員と思ひ、挨拶をした人は、自販機にジュースを補充しに来ていた業者の方で、お店とは全く関係のない人だったという出来事がありました。中に入り、券売機で社長が皆の分の入浴券を買ってくださり、受付の方がお友達の方じゃなかったのか、呼びましようかと

「いつかお世話になってます。」と、社長はお店の従業員と思ひ、挨拶をした人は、自販機にジュースを補充しに来ていた業者の方で、お店とは全く関係のない人だったという出来事がありました。中に入り、券売機で社長が皆の分の入浴券を買ってくださり、受付の方がお友達の方じゃなかったのか、呼びましようかと

「はいっ次！」と、フロアを後にして、今度は近くの「華の番台」というエステもつけられてランチやデイナーも頂けるところに到着です。そこは前に、社長のご主人の隆男さんと、隆男さんのお母さんや兄弟家族と社長と一緒にいった事がある処だそうなんです。アジアンテイストの日帰り温泉とつたっている所だ

本県と大分県の県境にあり、遠く、17時のエステの研修に間にあわないので、黒川温泉はなくなりまし。そのかわり、平山温泉という処に行く事になりました。福岡から高速に乗って約1時間半くらいで、行けるそうです。実は、平山温泉にフロアという温泉センターがあり、そこで社長の結婚式に出席した、熊本に住んでいた頃からのお友達が行って、驚かせたいし、

けあり、木をふんだんに使った建物で、回転ドアのように開き、ちよつと危ないなと思ひながら、入って行きました。そこも滞在時間10分。2つの温泉に入つて、20分という時間で後にしました。お昼も近くなり、社長が予約して下さった南阿蘇の「炭焼地鶏のらくだ山」というお店に向

「らくだ山」に到着です。バイクや車が結構並んでいて、平日の月曜日に

入口のレジの下に、エヴァンゲリオンやワンピースのフィギアが飾つてあり、他に飾るものもあるだろうと見て思ひながら、狸の剥製を見つ、しばらくして店員さんに案内されて席に着きました。靴を脱ぎ、下駄箱に靴を入れて板の間を歩いて行く

きのう会つたばかりなので、行つたら喜ぶという目的の地になりました。けど、社長にとつての最初の目的地は、高速にある、サービスイリアのペーカリーと「トピー」だつたみたいなんです。店長と私は、コーヒーだけを頂き、出発しました。社長のカーナビに頼りながら、平山温泉フロアに到着です。お店の入り口で、男性と一人すれ違つたので、

「食べれるかな」と思つて、炭で焼くことで、余分な脂が落ちて、さっぱりして

奥の方に駄馬か口バのよう

その間、社長は芝生の上に横になり、寒くなつたのか、車に戻つていました。寝転んでいる社長の姿は、寝はん像そっくりでしつかり写真に撮つておきました。寒くなつてきたのと、時間も無くなつて来たので、車に戻り福岡に向か

いました。帰りの途中、風力発電の風車が並んでいました。テレビでは見た事がありました。本物を見たのは初めてで、しつかり写真に収めました。九州ならではの緑で整えられた高速道路を通りながら、福岡に帰りました。

私達も持つて来た制服に着替え、用意して下さつた場所をお借りして、研修スタート。

この後、社長のご主人のお義母さんと隆男さんと合流し、おなじ福岡でも、少し離れたところにある、魚の美味しいお店に行きました。

お義母さんに、「一緒に食事を楽しみますか？」と社長が連絡をし、みんなでの食事が実現しました。高速に乗り、屋台が並んでいるような場所です。お店に予約をして下さつていたので良かったですが、平日の月曜日なのに、ほぼ予約席で埋まっています。

中でも一番印象に残っています。他の席の人がその料理の値段を聞いているのが聞こえてきて、意外な安さにビックリして覚えているのもあります。途中で、隆男さんが酔っ払い、トイレに行こうとして、つい立に手をかけたら、グラスが落ちて割れた。本当なら、グラスを割られた方から、怒鳴られそうなの、酔っ払ったときは、しょうがないもんね。気にしなくていい。いい。俺もやった事があるから。」と下さりました。

「柳川下りは、じゃあ私がぜんぶ払うから。きょうはみほちゃんも払うね。」最初は、お義母さんが、この支払いもするといいだし、社長が制止して、明日の柳川下りの支払いだけで納まりました。

帰りの車の中で、隆男さんに休肝日をつくらな

お義母さんを送って行き

おわり

ちよつと立ち話

「風地蔵新聞」って、あんないい新聞があつたなんて、エステ行つてた頃も知らなかったよー。店長が、出来立てほやほやですって、100号号くれて、読んでびっくりした！良い新聞やん！原先生って、券婚式の様子、なんであんな細かいことまで覚えてるの？。すこいね！

（まりこさん）
かまざわさん！新聞来たよ。いつもありがとう。お手紙も入れてくれてありがとう。（りおん）
新聞読みました！娘さんの文章も載ってましたね。前にもどこかで目にしていたのかもですが、娘さんのお名前の漢字を初めて知りました。（まさこさん）

（りおん）
悪人見ましたよ。これが社長とご主人のルーツなんだとよくわかりました。（自）
称ジャーニーズイケメン島巻さん）

新聞読みましたよ。美帆さんと店長の出会いよくわかりましたよ。そうだったと納得してしまいました。（S原さん）
新聞楽しみに読んでます。これ次の号よね。早く続きが読みたくて。もらってます。（エステのKさん）

大橋さんにただただ感謝です！気持ち「愛情」以外何ものでもないです。無償の愛。いくつ歳を重ねようと子供だという事です。社長は心を開かないと貝のように口を閉じて、からの中に閉じこもった状態

ばんに謙澤さんだもんね！結婚式であんなこと言われたら店長も嬉しいね。店長は「こりや、がんばるしかない」って思ったでしょうね。（長崎のみきちゃん）
悪人見ましたよ。これが社長とご主人のルーツなんだとよくわかりました。（自）
称ジャーニーズイケメン島巻さん）
新聞読みましたよ。美帆さんと店長の出会いよくわかりましたよ。そうだったと納得してしまいました。（S原さん）
新聞楽しみに読んでます。これ次の号よね。早く続きが読みたくて。もらってます。（エステのKさん）
大橋さんにただただ感謝です！気持ち「愛情」以外何ものでもないです。無償の愛。いくつ歳を重ねようと子供だという事です。社長は心を開かないと貝のように口を閉じて、からの中に閉じこもった状態

態で、嫌な人から離れていくよ。うな人ですが、心がオープンになる人には全部をさらけ出すので、本心が見える。見えてくるのに根気と根性、忍耐です。どこに行っても平気でいられる人になりますね。
奥田さん、大変ですよ。私達も大変です。これからは宜しく願います。エステティシャン同志の意見交換。いろんな情報交換が出来ます。すべて出会うから
知恵も付くし、知恵を出し合いいいものが出来てくると思います。あまですさん。フィクションですか。・。本当にあつたらおもしろいから行ってみたいと本気で思いました。気が軋（きし）む音に驚く。昔の人は妖怪といつて普段何げない事も楽しんでい。たのだと思います。もうしつかり3人家族です。時間なんていらぬです。大丈夫です。（原）
大橋さんの読んでいると、母の愛情がいつぱいで、子供さんたちはのびのびと育っているのがわかります。

かかります。我が家を振り返って、ここ何年ケーキを焼いてないかなと、思いました。今度じっくり息子の大好きなイチゴのたつぷりのつたケーキを焼いてみようかなと思えます。
原先生の旅行記、思い出し笑いが出てしまいます。川風は、生き残っていくための智恵をみんまで出し合い頑張りで行こうと思えます。
奥田さんのパワーの源はそこにあつたんだと思えました。
あまですさんののは、本当だと思つて、最後フィクションだとあつて、本当にびっくりしました。リーちゃんは寂しかったんだよね。でももう3人親子だよ。時間なんて関係ないよ。ぶつかり合う事だと思えます。（謙澤）
過去にそんな店長が居たなんて！と思えました。いつもお客様の前でも堂々としていて、オーナーが福岡に行かれてから、今私達の先頭に立ち、指導をして下さっている姿しか見ていません。この10年の頑張りがあるからこそだと納得しました。

りおんちゃんはお母さんを独り占めしたかつたんでしょね。お父さんとお母さんがラブラブなのは嬉しい事なのに、私のお母さんなのにと、少し寂しくなつてしまつたんですよ。りおんちゃんは今複雑な気持ちと戦っているでしょう。
原先生の旅行の様子を読んだり聞いたりして、お母様も一緒に楽しんでましたと知つて、私も是非会つてみたいと思つてました。それが実現です。2月25日に、風地蔵にはるばる九州からいらつしやる事になりました。とても楽しみですよ。
風地蔵（ローズオブローズ）は、ご近所の方にこそ、気軽に本格エステをして頂きたいという気持ちから、メニューも新しく、低価格、1回づつのお支払いが出来るようになりしました。オーナーを始めスタッフでお客様ともしっかりと近づきたいと思つております。（大橋）
まず、店長のあたしとりおんの客観視の文字をキーでたたきながら、あたしよりあたしのこと、知つてるし！あたしってそんな人だつたんだ！って初めて知りました（笑）りおんとの違いは保育園から、どろんこまで多年齢でもみ合つて育つてきた事が、さらに寮に入つた分、パワーアップしてあたしを超え、大人がびつくりするほどの考えと、実行力を持つています。たまに、羽目を外しすぎるのが難ですが、小さい頃からどんな大人になるか楽しみと、言われ続けた事が納得です。原先生のは、まるで昨日の事のような旅行記がよみがえり、また行きたい！一緒に泊まりたい！やっぱ、3日は短すぎる！って怒れてきました！！
大橋さんは、前回も泣けて泣けて、今回も、良きことも心配ことも乗り越え、家族愛に満ちあふれ、素晴らしい一家を築かれている途中を幸せな気分で見ました。読み終えいちばんに思つた事は、「お便りします」に書きました。（しらいし みほ）

「帰つて来た息子」

大橋 美紀

3年前の、4月2日 まだ入学式前に学校の野球部の寮に入つた次男。入寮する一カ月前から、少しづつ荷造りをしながら、毎日私は寂しさのあまり、一人で一日何度も涙を流していた事を思い出します。私が生まれ育つた実家では、家族がバラバラに暮らすなんて経験したこともなく、実家は自営ですので、父が転勤という事もなく、私達兄弟が、結婚をして家庭を持つとなつて初めて、家を離れる時までずっと一緒に暮らしてききましたから、まさか我が子で私は別に暮らす事を体験しました。3年間長い間、あつという間だったと、毎日涙を流していた時を、ついこの間の事のように思

います。2月3日出寮日と決まり学校まで息子を迎えに行きました。まず担いできたのは布団。そして何箱もの段ボール箱。そして共に汗と涙を流した野球道具に野球着、山の様な荷物を車にギューギューに運んで、出寮しました。この寮には、私には想像も出来ないようなたくさんのドラマがあつたでしょう。息子の心の中に、一生大切に残つていくのでしょ。寮を後にし、我が家へと帰つてきました。もう遅い時間でしたので、荷物の片付けは次の日にと、夕食をとりました。息子は次の進路も決まり、これからは家族と一緒に暮らせる事と思えます。（多分）一緒に暮らせば、色々あるだろうけど、子供たちが新しい家庭

を築こうと決めるその時まで、主人、長男、次男、そして私の4人で一つ屋根の下で、たくさん笑い、時には涙を流す事もあるかもしれませんが、それも家族だと思つています。次男は、3月1日の卒業式を迎えるだけです。また一つ成長していく我が子を傍で見守る事が出来る事を、幸せに感じます。次男が帰つて来たとき、母に連絡をし、そして次男と母と私と3人で長島に遊びに行こうと計画を立てました。小さい頃から、長男も次男もそれぞれスポーツ少年団に入つていましたので、本当にどこへも連れて行ってあげていないし、行つた記憶もないほど、がむしゃらで走つて来たので、そんな時間を持つことすらできなませんでした。そんなこんなで母も、

長島「なばなの里」に行つた事がないと言つていましたので、あの話題のイルミネーションを見に行く事になりました。平日の方が空いているだろうと、お昼ごろ家を出て、まず「ジャズドリーム」へと出発。車内で、朝作つたおにぎりをパクパク食べながら、母も息子とのおしゃべりに花を咲かせていたら到着。車から降りると寒いのがのつて。雪がチラチラとしていました。息子はこれから髪も伸ばす事が出来、お酒落を楽しみ事もできるの、足早にリサーチ済みの自分の気に入つたお店に。その後を私達がついて歩き。お買い物や、お茶を飲みました。気がつくともう4時を回っていました。車に戻り少し休憩をし、体を温めながら、「なばなの里」にレッ

ツゴー。日も暮れ始め、益々冷え込みが強くなり、温かい車から降りると、震え上がる3人でした。まだ5時を過ぎたところで、ライトアップには30分時間があつた。あまりの寒さに入園してすぐにあるレストランに入り、体とお腹を温めました。レストランの照明が少し暗くなると、ガラス張りのレストランからイルミネーションが点灯した瞬間をみました。レストランのお客様が一斉に声をあげ、感動へと。もう外に出たくて、暖かい店内から出て、園内を寒さと戦いながら、カメラに思い出す残しながらイルミネーションを楽しみました。3人ともテレビや雑誌、友達からの話で知つてはいましたが、こんなにきれいだとは想像もしてい

なかつたので大満足。3人の中で一番喜んでいたので母でした。父が亡くなつてから、あまり出かけることも無くなつてました。よつぽど楽しかつたのでしょ。3月1日の卒業式が終わつたら、また3人でうすずみ温泉に行く約束をしました。そこでは陶芸もする予定です。母の喜ぶ顔を見て私もやつと親孝行ができるようになったのかなと思えました。母はその約束を嬉しそうに「3月ね」と言い返し、帰つて行きました。息子もこれから色々遅い経験ではありませんが、楽しんでいく事でしょう。出来る限り、一緒に出掛けたいですが、友達や彼女に取られてしまつて、少々寂しい予感がしている私です。

